

大志

山岡中学校だより

令和7年度 5月末号



恵那市山岡町下手向 182-4 Tel 26-6882

元気の源は、人にしゃべること

校長 後藤 琢磨

1年生の旭高原宿泊研修に一緒に行ってきました。2日間、みんなよくしゃべりました。ウォークラリーやカレー作りなど野外活動のよいところは、しゃべりながら活動できることです。毎日顔を合わせている仲間なのに、話題は尽きませんでした。

食事中にしゃべり、自由時間にしゃべり、消灯後もしゃべって叱られました。

自分のしゃべりたい話題を、自分のタイミングで、しゃべりたいだけしゃべっている時、人はみんな、どんどん元気が増していると感じました。



しゃべる人がいれば聞く人がいます。よく見てみると、しゃべる子を元気にしているのは、聞き上手な仲間の存在のようです。

では、聞き上手な人は何が違うのでしょうか。まず、人がしゃべり始めたら途中で遮りません。そして、必ずしも一生懸命聞きません。なぜなら、しゃべっている内容は、他愛もない話が多いからです。他愛もない話だと判断したら軽く受け流し

適当に反応しています。でも、この適当な聞き方こそが人を元気にしているようです。

以前、幼い子が「あのね、あのね。」と母親に話しかけました。その母親は、晩ご飯の支度をしながら、「そっか、そっか。」と聞きました。

「今、忙しいから後にして。後で必ず聞くから。」と言えいいのにと私は思いました。でも、その母親は言いました。「だって、この子は今しゃべりたいんだよ。後回しにしたら忘れちゃうよ。今しゃべりたいことは今しか話さない。聞いてほしいというよりもしゃべらせてほしいんだから、聞く側の準備なんてどうだっていいんだよ。」目から鱗が落ちました。

